

日本ロレンス協会第 46 回大会（2015.6.27-28, 愛知大学）報告

会場は愛知大学名古屋校舎講義棟 8 階です。



第1日目：6月27日（土）

1. 若手二人（？）による意欲的な研究発表がありました。

①



②



2. シンポジウム「「帰郷」という危機」では、レイモンド・ウィリアムズの批評がロレンス研究へ再導入されました。



第2日目:6月28日(日)

3. ワークショップ「D.H.ロレンス 『虹』 を読む」は、『虹』 出版 100 周年を記念するにふさわしい充実した内容でした。



4. 受付をはじめとする運営は、愛知大学スタッフの皆さんにご協力いただき、山田晶子開催校委員と近藤康裕会計が取り仕切りました。3年間抜群の安定感で事務局を支えてきた近藤会計担当は、今大会で任期満了です。



本大会は成功裏に幕を閉じました。皆さん、本当にありがとうございました。
次年度の日本ロレンス協会第47回大会は、2016年6月11日（土）・12日（日）に松山大学で開催される予定です。大会会場にぜひご参集ください。